

社団法人 大日本水産会シンポジウム
『大震災を超え、再生しよう
新しい日本の水産業へ』

開催日：平成23年7月28日（木）13:00 開場

会 場：東京ビッグサイトレセプションホール B

（江東区有明3丁目11番1号 TEL 03-5530-1115）

今回のテーマには単純に時、障害を越えて元に戻るだけではなく、新しいその先を目指すという思いを込めて「超える、という表現に致しました。震災以前より長く続いている魚食消費低迷の中、追い打ちをかける東日本大震災に遭遇した日本水産業の再生・復興を目指し、業界関係者、消費者一体となり新しく再生する糸口を探ります。

第一部 講演会は、

「買って、食べて応援しよう水産日本」

講師：阿南 久 全国消費者団体連絡会事務局長

として、消費者中央組織23団体および地方消費者連絡組織23団体、合計46の消費者団体が加盟する全国消費者団体連絡会の阿南久事務局長を講師にお迎えします。消費者目線で日本の漁業、水産業、そして魚食動向をどのように見られているのか、魚食市場拡大に向けて日夜尽力している生産者と魚嫌いではない、魚を食べたいとする消費者が多い中、両者の魚食普及の連携はどのようにあるべきなのか、貴重なご提言に耳を傾けたいと思います。



阿南 久
全国消費者団体
連絡会事務局長

阿南 久（あなん ひさ） 略歴

1972年東京教育大学体育学部卒、生活協同組合コープとうきょう理事、東京都生活協同組合連合会理事、日本生活協同組合連合会理事、全国労働者共済生活協同組合連合会理事、全国消費者団体連絡会事務局員を経て現職。消費者問題、食の安全・衛生、食育、環境保全問題など多くの消費者関連課題に関して、消費者庁参与をはじめ、関係省庁審議会委員、専門調査会委員など多くの官公庁委員を歴任。

第二部 パネルディスカッションは、

「応援しよう日本の水産業—どう描くその未来」

～水産業界各代表に聞く。読み解く環境、戦略の設計～

コーディネーター：馬場 治 東京海洋大学海洋科学部海洋政策文化学科教授

として、水産業の主軸を構成する異なる業態の方々に加え、魚を食べたいとする消費者が多い中、消費者団体代表他をパネリストにお迎えし、それぞれの視点から再生する、新生しようとする日本の水産業について討論します。コーディネーターは東京海洋大学馬場治教授にお願いし、それぞれのパネリストの思いに迫って頂きます。馬場先生は海洋政策文化学、とりわけ日本の漁業経済をご研究、学界・業界に深い示唆をなされております。漁業経済学の視点から、「魚離れは魚嫌いではない、食の種類が豊富になったから」という分析をされており、日本の水産業の活性化に向けて、新しい読みを水産業界各位、消費者の目線で討論を行って頂きます。



馬場 治
東京海洋大学
海洋科学部教授

馬場 治 (ばば おさむ) 略歴

高知県生まれ。

1984年東京大学大学院農学系研究科博士課程修了。

現在、東京海洋大学（旧東京水産大学）海洋科学部海洋政策文化学科教授。

漁業管理の制度や実態、漁業経営、水産物流通など、水産業の社会経済的側面に関する教育研究に携わる。

農林水産省独立行政法人評価委員会農業分科会専門委員、東日本大震災復興構想会議検討部会専門委員等。

- パネリストの方々：
- ①漁業者として/茨城県久慈町漁協・小型底引き網漁業経営
小泉光彦
 - ②水産加工・流通業者として/気仙沼市 株式会社阿部長商店
代表取締役社長 阿部康浩
 - ③中央卸業者として/(社)全国中央市場水産卸協会
会長 伊藤裕康
 - ④魚類販売業者として/株式会社魚力
代表取締役相談役 伊藤繁則
 - ⑤消費者団体代表として/全国消費者団体連絡会
事務局長 阿南 久

※ただし、上記パネリストは変更される場合があります。

なお、座席数に限りがありますことから、ご出席を希望される方は、以下の用紙を使用して、7月15日までに、FAXで下記宛先まで、お申し込みをお願い致します。

また、シンポジウムご来場の皆様には、当日東5・6ホールで開催される第13回ジャパン・インターナショナル・シーフードショーの無料招待券を配布させていただきます。「応援しよう水産日本」として開催されるシーフードショーの訪問、被災地域を励ます被災者出展ブースの訪問をお願い致します。

本行事に関するお問い合わせは、03-3585-6684 までお電話ください。

是非おいで下さい、お待ちしております。

返 信 先：社団法人 大日本水産会
魚食普及推進センター事務局
FAX 03-3582-2337

出席者名	所属会社または所属団体名	ご連絡先電話番号